

平成 22 年「工業統計調査」結果の概要

平成 24 年 3 月

札幌市市長政策室政策企画部企画課

平成22年12月末現在で実施した平成22年「工業統計調査」の確報結果がまとまりましたので、その概要を紹介いたします。なお、平成23年12月12日に公表した速報結果から、数値が修正されている箇所があります。

調査の範囲及び対象は、日本標準産業分類E－製造業に属する事業所ですが、14年3月の日本標準産業分類改定により14年以降は、製造業から「新聞業」、「出版業」などが他の産業大分類へ移動していることから、14年以降の数値と13年以前の数値との比較には注意が必要です。また、19年11月の日本標準産業分類改定により、分類項目が変更されています。

調査対象については、18年、19年、21年、22年調査では、従業者3人以下の事業所を対象から除外しており、ここに掲げる第2表以下の数値はすべて従業者4人以上の事業所についての数値となっています。

1 平成22年工業の概況

平成22年12月末現在の札幌市の従業者4人以上の製造業に属する事業所数は950事業所、従業者数は28,066人、製造品出荷額等（製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額（18年までは「修理料収入額等」）並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。以下、本文中では「出荷額」と略記する。）は4696億円となった。

前年と比較すると、事業所数は、21年の1,020事業所から70事業所の減少（前年比6.9%減）となり、1,000事業所を割った。また、従業者数は27,818人から248人の増加（0.9%増）、出荷額は4784億円から88億円の減少（1.8%減）となっている。

1事業所当たり従業者数は29.5人、1事業所当たり出荷額は4億9427万円、従業者1人当たり出荷額は1673万円となった。

第1表 年次別工業概況

調査日現在の日本標準産業分類E－製造業の数値である。

年次	実数						各年12月末現在		
	事業所数	従業者数		製造品出荷額等 ¹⁾			増加率(%) ²⁾		
		総数	1事業所当たり	総額 (百万円)	1事業所 当たり (万円)	従業者 1人当たり (万円)	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等 1)
	全						数		
平成7年	2,127	40,744	18.6	753,830	34,452	1,847	△4.8	△3.5	△3.5
10年	2,607	43,277	19.2	777,531	35,441	1,850	7.0	2.0	1.0
12年3)	2,359	39,455	16.6	714,890	29,825	1,797	△4.9	△4.5	△4.1
	(2,277)	(37,068)	(16.7)	(656,964)	(30,305)	(1,812)	—	—	—
15年4)	2,019	33,592	16.3	567,467	28,106	1,689	△3.9	△3.2	△4.8
17年	1,794	32,837	18.3	569,250	31,731	1,734	△5.7	△1.1	0.2
20年	1,615	31,266	19.4	528,696	32,737	1,691	△3.4	△1.6	△2.4
	従業者4人以上の事業所								
平成17年	1,271	31,733	25.0	560,081	44,066	1,765	3.0	△2.5	△5.3
18年	1,167	29,291	25.1	509,755	43,681	1,740	△8.2	△7.7	△9.0
19年	1,173	31,285	26.7	550,199	46,905	1,759	0.5	6.8	7.9
20年	1,114	30,187	27.1	516,245	46,342	1,710	△5.0	△3.5	△6.2
21年	1,020	27,818	27.3	478,380	46,900	1,720	△8.4	△7.8	△7.3
22年	950	28,066	29.5	469,561	49,427	1,673	△6.9	0.9	△1.8

注：1) その年の1年間の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額（平成18年までは「修理料収入額等」）並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。2) 全数の数値は、直前の全数調査と比較した年平均増加率である。

3) () 内の数値は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）に組替えた数値であり、「新聞業」、「出版業」などを除いたものである。4) 増加率は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）に組替えた前回の数値からの増加率である。

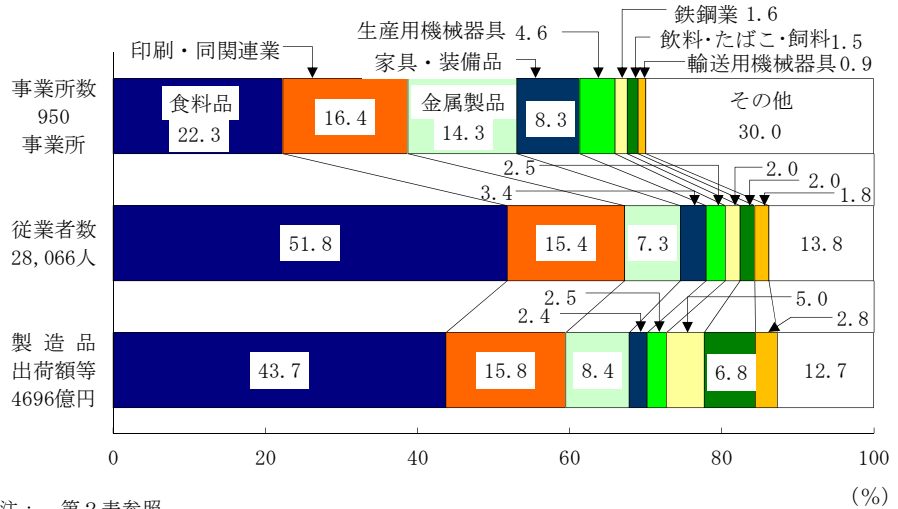
<資料> 経済産業省、市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

2 産業中分類別概況

産業中分類別にみると、事業所数では、「食料品」が212事業所で全体（950事業所）の22.3%を占めて最も多く、以下、「印刷・同関連業」が156事業所（16.4%）、「金属製品」が136事業所（14.3%）、「家具・装備品」が79事業所（8.3%）などとなっている。

従業者数では、「食料品」が14,541人で全体（28,066人）の51.8%と半数以上を占めており、以下、「印刷・同関連業」が4,322人（15.4%）、「金属製品」が2,060人（7.3%）、「家具・装備品」が948人（3.4%）などとなっている。

第1図 産業（中分類）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等割合（従業者4人以上の事業所）
（平成22年12月末現在）



注：第2表参照。
＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第2表 産業（中分類）別工業概況（従業者4人以上の事業所）

産業（中分類）	平成22年12月末現在							割合 (%)		
	事業所数	実数			製造品出荷額等 1)			事業所数	従業者数	製造品出荷額等 1)
		従業者数	1事業所当たり	製造品出荷額等 1)	従業者数	1事業所当たり	従業者数			
総数	950	28,066	29.5	469,561	49,427	1,673	100.0	100.0	100.0	
09 食料品	212	14,541	68.6	205,270	96,825	1,412	22.3	51.8	43.7	
10 飲料・たばこ・飼料	14	548	39.1	31,899	227,850	5,821	1.5	2.0	6.8	
11 繊維工業	42	481	11.5	2,996	7,133	623	4.4	1.7	0.6	
12 木材・木製品	12	130	10.8	1,804	15,033	1,388	1.3	0.5	0.4	
13 家具・装備品	79	948	12.0	11,141	14,103	1,175	8.3	3.4	2.4	
14 パルプ・紙・紙加工品	19	394	20.7	5,826	30,663	1,479	2.0	1.4	1.2	
15 印刷・同関連業	156	4,322	27.7	73,996	47,433	1,712	16.4	15.4	15.8	
16 化学工業	6	303	50.5	8,676	144,600	2,863	0.6	1.1	1.8	
17 石油製品・石炭製品	4	37	9.3	1,469	36,725	3,970	0.4	0.1	0.3	
18 プラスチック製品	33	493	14.9	8,164	24,739	1,656	3.5	1.8	1.7	
19 ゴム製品	6	77	12.8	857	14,283	1,113	0.6	0.3	0.2	
20 なめし革・同製品・毛皮	3	47	15.7	1,238	41,267	2,634	0.3	0.2	0.3	
21 窯業・土石製品	31	242	7.8	6,896	22,245	2,850	3.3	0.9	1.5	
22 鉄鋼業	15	549	36.6	23,248	154,987	4,235	1.6	2.0	5.0	
23 非鉄金属	3	30	10.0	451	15,033	1,503	0.3	0.1	0.1	
24 金属製品	136	2,060	15.1	39,356	28,938	1,910	14.3	7.3	8.4	
25 はん用機械器具	27	287	10.6	4,147	15,359	1,445	2.8	1.0	0.9	
26 生産用機械器具	44	707	16.1	11,790	26,795	1,668	4.6	2.5	2.5	
27 業務用機械器具	10	227	22.7	2,461	24,610	1,084	1.1	0.8	0.5	
28 電子部品・デバイス・電子回路	2	21	10.5	x	x	x	0.2	0.1	x	
29 電気機械器具	25	588	23.5	8,548	34,192	1,454	2.6	2.1	1.8	
30 情報通信機械器具	2	34	17.0	x	x	x	0.2	0.1	x	
31 輸送用機械器具	9	516	57.3	13,178	146,422	2,554	0.9	1.8	2.8	
32 その他の製造業	60	484	8.1	5,349	8,915	1,105	6.3	1.7	1.1	

注：1) 平成22年中の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

出荷額では、「食料品」が2053億円で全体（4696億円）の43.7%を占めて最も多く、以下、「印刷・同関連業」が740億円（15.8%）、「金属製品」が394億円（8.4%）、「飲料・たばこ・飼料」が319億円（6.8%）などとなっている。特に「食料品」と「飲料・たばこ・飼料」を合わせると2372億円で全体の50.5%となっており、札幌市では食料品関連産業が出荷額全体の5割を占めている。

次に、1事業所当たり従業者数をみると、「食料品」が68.6人で最も多く、以下、「輸送用機械器具」が57.3人、「化学工業」が50.5人、「飲料・たばこ・飼料」が39.1人、「鉄鋼業」が36.6人などとなっている。

1事業所当たり出荷額では、「飲料・たばこ・飼料」が22億7850万円で最も多く、以下、「鉄鋼業」が15億4987万円、「輸送用機械器具」が14億6422万円、「化学工業」が14億4600万円などとなっている。

従業者1人当たり出荷額をみると、「飲料・たばこ・飼料」が5821万円で最も多く、以下、「鉄鋼業」が4235万円、「石油製品・石炭製品」が3970万円、「化学工業」が2863万円などとなっている。

平成21年から22年にかけての出荷額の増加状況をみると、「食料品」が66億円増加（前年比3.3%増）しており、以下、「輸送用機械器具」が15億円増加（前年比12.4%増）、「化学工業」が9億円の増加（11.5%増）、「電気機械器具」が8億円の増加（9.9%増）などとなっている。一方、出荷額が減少した産業をみると、「印刷・同関連業」が66億円の減少（8.1%減）、「金属製品」が48億円の減少（10.9%減）、「はん用機械器具」が19億円の減少（31.4%減）、「鉄鋼業」が18億円の減少（7.1%減）、「家具・装備品」が17億円の減少（13.4%減）などとなっている。

第3表 年次、産業（中分類）別工業概況（従業者4人以上の事業所）

産業（中分類）	平成21年			22年			増加数		
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 1)
総数	1,020	27,818	478,380	950	28,066	469,561	△70	248	△8,819
09 食料品	226	13,448	198,633	212	14,541	205,270	△14	1,093	6,637
10 飲料・たばこ・飼料	14	559	32,785	14	548	31,899	—	△11	△886
11 繊維工業	47	539	3,806	42	481	2,996	△5	△58	△810
12 木材・木製品	13	139	1,617	12	130	1,804	△1	△9	187
13 家具・装備品	89	1,046	12,868	79	948	11,141	△10	△98	△1,727
14 パルプ・紙・紙加工品	19	394	5,859	19	394	5,826	—	—	△33
15 印刷・同関連業	165	4,498	80,558	156	4,322	73,996	△9	△176	△6,562
16 化学工業	6	296	7,782	6	303	8,676	—	7	894
17 石油製品・石炭製品	4	29	1,570	4	37	1,469	—	8	△101
18 プラスチック製品	35	490	8,316	33	493	8,164	△2	3	△152
19 ゴム製品	6	82	807	6	77	857	—	△5	50
20 なめし革・同製品・毛皮	3	45	971	3	47	1,238	—	2	267
21 窯業・土石製品	32	251	6,872	31	242	6,896	△1	△9	24
22 鉄鋼業	13	540	25,026	15	549	23,248	2	9	△1,778
23 非鉄金属	3	35	x	3	30	451	—	△5	x
24 金属製品	152	2,355	44,152	136	2,060	39,356	△16	△295	△4,796
25 はん用機械器具	32	376	6,045	27	287	4,147	△5	△89	△1,898
26 生産用機械器具	44	679	11,368	44	707	11,790	—	28	422
27 業務用機械器具	12	265	2,854	10	227	2,461	△2	△38	△393
28 電子部品・デバイス・電子回路	2	9	x	2	21	x	—	12	x
29 電気機械器具	25	609	7,778	25	588	8,548	—	△21	770
30 情報通信機械器具	4	54	631	2	34	x	△2	△20	x
31 輸送用機械器具	10	552	11,721	9	516	13,178	△1	△36	1,457
32 その他の製造業	64	528	5,837	60	484	5,349	△4	△44	△488

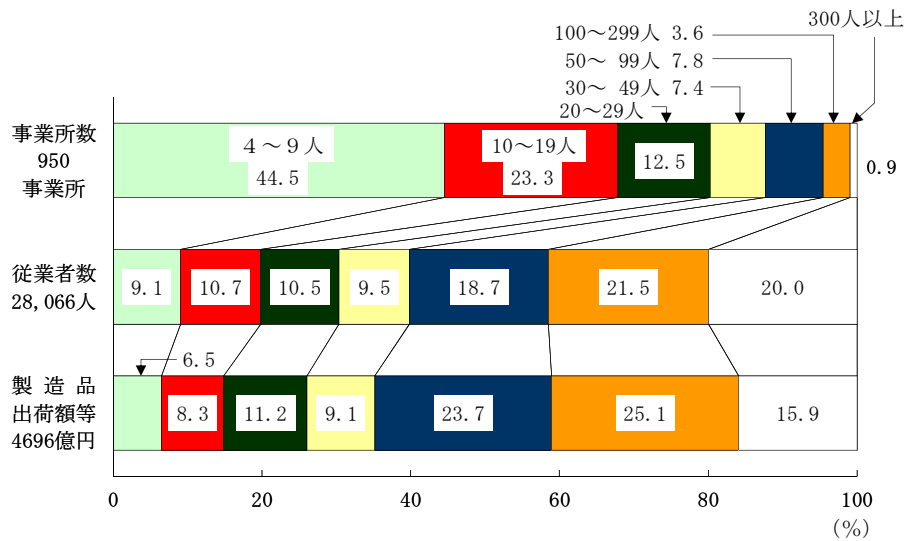
注：1) その年の1年間の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

<資料> 経済産業省、市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

3 従業者規模別概況

従業者規模別にみると、事業所数では、従業者規模「4～9人」が423事業所で全体（950事業所）の44.5%を占めて最も多く、以下、「10～19人」が221事業所（23.3%）、「20～29人」が119事業所（12.5%）、「50～99人」が74事業所（7.8%）、「30～49人」が70事業所（7.4%）、「100～299人」が34事業所（3.6%）、「300人以上」が9事業所（0.9%）となっている。

第2図 従業者規模（7区分）別事業所数、従業者数、製造品出荷額等割合（従業者4人以上の事業所）
（平成22年12月末現在）



のように、札幌市では従業者規模「4～9人」の事業所が全体の半数近くを占めており、規模が大きくなるほど事業所数が少なくなる傾向にある。

注： 第4表参照。
＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

従業者数をみると、「100～299人」が6,028人で全体（28,066人）の21.5%を占めて最も多く、以下、「300人以上」が5,606人（20.0%）、「50～99人」が5,247人（18.7%）、「10～19人」が3,016人（10.7%）、「20～29人」が2,946人（10.5%）、「30～49人」が2,675人（9.5%）、「4～9人」が2,548人（9.1%）となっており、事業所数で半数近くを占めた従業者規模「4～9人」の事業所は、従業者数では9.1%と1割を切っている。

出荷額をみると、「100～299人」が1181億円で全体（4696億円）の25.1%を占めて最も多く、以下、「50～99人」が1114億円（23.7%）、「300人以上」が747億円（15.9%）、「20～29人」が528億円（11.2%）、「30～49人」が428億円（9.1%）、「10～19人」が391億円（8.3%）、「4～9人」が306億円（6.5%）となっており、従業者50人以上の事業所は、事業所数では12.3%と全体の1割程度にすぎないが、出荷額では64.8%と6割以上を占めている。

第4表 従業者規模（7区分）別工業概況（従業者4人以上の事業所）

従業者規模 (7区分)	平成22年12月末現在						割合 (%)		
	事業所数	実数		数			事業所数	従業者数	製造品 出荷額等 1)
		従業者数 総数	1事業所 当たり	製造品 出荷額等 1) 総額 (百万円)	1事業所 当たり (万円)	従業者 1人当たり (万円)			
総数	950	28,066	29.5	469,561	49,427	1,673	100.0	100.0	100.0
4～9人	423	2,548	6.0	30,584	7,230	1,200	44.5	9.1	6.5
10～19人	221	3,016	13.6	39,084	17,685	1,296	23.3	10.7	8.3
20～29人	119	2,946	24.8	52,819	44,386	1,793	12.5	10.5	11.2
30～49人	70	2,675	38.2	42,832	61,189	1,601	7.4	9.5	9.1
50～99人	74	5,247	70.9	111,429	150,580	2,124	7.8	18.7	23.7
100～299人	34	6,028	177.3	118,068	347,259	1,959	3.6	21.5	25.1
300人以上	9	5,606	622.9	74,744	830,489	1,333	0.9	20.0	15.9

注： 1) 平成22年中の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

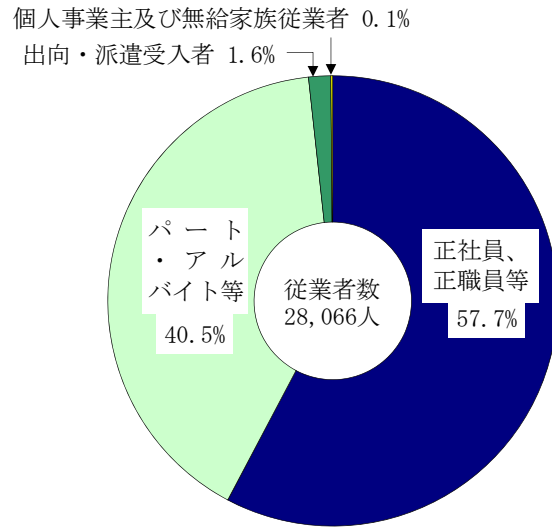
4 従業上の地位別従業者数

従業者数を従業上の地位別にみると、「常用労働者」は28,026人、「個人事業主及び無給家族従業者」は40人となっている。「常用労働者」の内訳をみると、「正社員、正職員等」が16,203人(全体の57.7%)、「パート・アルバイト等」が11,377人(40.5%)、「出向・派遣受入者」は446人(1.6%)となっている。

産業中分類別に従業上の地位別割合をみると、「パート・アルバイト等」の割合は、「食料品」が64.0%で最も高く、以下、「繊維工業」が44.1%、「プラスチック製品」が31.4%、「なめし革・同製品・毛皮」が29.8%、「木材・木製品」が28.5%などとなっており、特に、「食料品」では「パート・アルバイト等」が「正社員、正職員等」を上回っている。

一方、「パート・アルバイト等」の割合が低い産業をみると、「化学工業」が4.6%、「電子部品・デバイス・電子回路」が4.8%、「石油製品・石炭製品」が5.4%、「鉄鋼業」及び「輸送用機械器具」が5.6%、「はん用機械器具」が5.9%などとなっている。

第3図 従業上の地位別従業者数の割合
(従業者4人以上の事業所)
(平成22年12月末現在)



<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第5表 産業（中分類）、従業上の地位別従業者数（従業者4人以上の事業所）

産業（中分類）	平成22年12月末現在						割合 (%)			
	総数	実数				個人事業主及び無給家族従業者	総数	正社員、正職員等	パート・アルバイト等	出向・派遣受入者
		総数	正社員、正職員等	パート・アルバイト等	出向・派遣受入者					
総数	28,066	28,026	16,203	11,377	446	40	100.0	57.7	40.5	1.6
09 食料品	14,541	14,532	4,965	9,313	254	9	100.0	34.1	64.0	1.7
10 飲料・たばこ・飼料	548	548	368	126	54	—	100.0	67.2	23.0	9.9
11 繊維工業	481	478	261	212	5	3	100.0	54.3	44.1	1.0
12 木材・木製品	130	130	93	37	—	—	100.0	71.5	28.5	—
13 家具・装備品	948	946	811	131	4	2	100.0	85.5	13.8	0.4
14 パルプ・紙・紙加工品	394	394	311	81	2	—	100.0	78.9	20.6	0.5
15 印刷・同関連業	4,322	4,316	3,607	688	21	6	100.0	83.5	15.9	0.5
16 化学工業	303	303	285	14	4	—	100.0	94.1	4.6	1.3
17 石油製品・石炭製品	37	37	26	2	9	—	100.0	70.3	5.4	24.3
18 プラスチック製品	493	487	326	155	6	6	100.0	66.1	31.4	1.2
19 ゴム製品	77	77	57	20	—	—	100.0	74.0	26.0	—
20 なめし革・同製品・毛皮	47	47	33	14	—	—	100.0	70.2	29.8	—
21 窯業・土石製品	242	242	204	23	15	—	100.0	84.3	9.5	6.2
22 鉄鋼業	549	549	506	31	12	—	100.0	92.2	5.6	2.2
23 非鉄金属	30	30	25	5	—	—	100.0	83.3	16.7	—
24 金属製品	2,060	2,056	1,855	177	24	4	100.0	90.0	8.6	1.2
25 はん用機械器具	287	286	267	17	2	1	100.0	93.0	5.9	0.7
26 生産用機械器具	707	705	596	102	7	2	100.0	84.3	14.4	1.0
27 業務用機械器具	227	227	199	23	5	—	100.0	87.7	10.1	2.2
28 電子部品・デバイス・電子回路	21	21	18	1	2	—	100.0	85.7	4.8	9.5
29 電気機械器具	588	588	483	102	3	—	100.0	82.1	17.3	0.5
30 情報通信機械器具	34	34	28	5	1	—	100.0	82.4	14.7	2.9
31 輸送用機械器具	516	516	476	29	11	—	100.0	92.2	5.6	2.1
32 その他の製造業	484	477	403	69	5	7	100.0	83.3	14.3	1.0

<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

5 区別概況

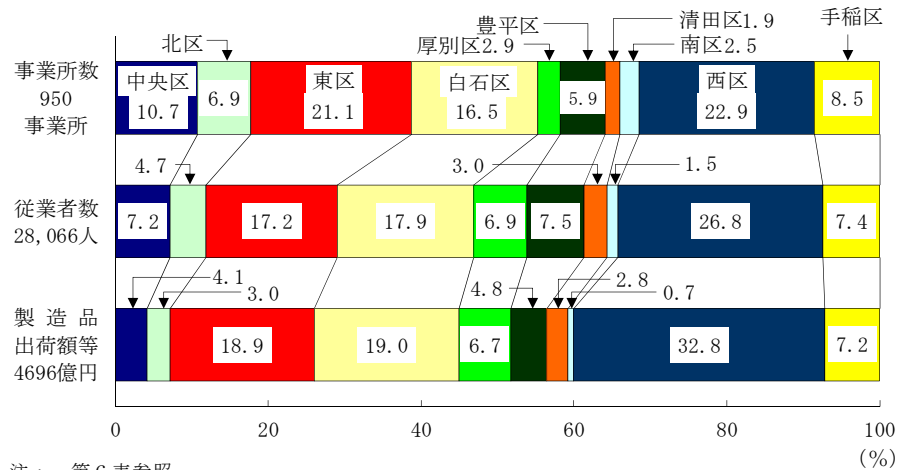
区別にみると、事業所数では、西区が218事業所で全市(950事業所)の22.9%を占めて最も多く、以下、東区が200事業所(21.1%)、白石区が157事業所(16.5%)、中央区が102事業所(10.7%)、手稲区が81事業所(8.5%)、北区が66事業所(6.9%)、豊平区が56事業所(5.9%)、厚別区が28事業所(2.9%)、南区が24事業所(2.5%)、清田区が18事業所(1.9%)となっている。

従業者数をみると、西区が7,521人で全市(28,066人)の26.8%を占めて最も多く、以下、白石区が5,019人(17.9%)、東区が4,823人(17.2%)、豊平区が2,097人(7.5%)、手稲区が2,080人(7.4%)、中央区が2,010人(7.2%)、厚別区が1,942人(6.9%)、北区が1,315人(4.7%)、清田区が838人(3.0%)、南区が421人(1.5%)となっている。

出荷額をみると、西区が1541億円で全市(4696億円)の32.8%を占めて最も多く、以下、白石区が893億円(19.0%)、東区が885億円(18.9%)、手稲区が338億円(7.2%)、厚別区が316億円(6.7%)、豊平区が224億円(4.8%)、中央区が194億円(4.1%)、北区が141億円(3.0%)、清田区が130億円(2.8%)、南区が34億円(0.7%)となっている。

次に、1事業所当たり従業者数をみると、厚別区が69.4人で最も多く、以下、清田区が46.6人、豊平区が37.4人などとなっている。1事業所当たり出荷額をみると、厚別区が11億2686万円で最も多く、以下、清田区が7億2333万円、西区が7億701万円などとなっている。従業者1人当たり出荷額では、西区が2049万円で最も多く、以下、東区が1836万円、白石区が1779万円などとなっている。

第4図 区別事業所数、従業者数、製造品出荷額等割合(従業者4人以上の事業所)
(平成22年12月末現在)



注：第6表参照。

<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第6表 区別工業概況(従業者4人以上の事業所)

区	平成22年12月末現在						割合 (%)		
	事業所数	実数		製造品出荷額等 1)			事業所数	従業者数	製造品出荷額等 1)
		従業者数	1事業所当たり	総額	1事業所当たり	従業者1人当たり			
全市	950	28,066	29.5	469,561	49,427	1,673	100.0	100.0	100.0
中央区	102	2,010	19.7	19,447	19,066	968	10.7	7.2	4.1
北区	66	1,315	19.9	14,053	21,292	1,069	6.9	4.7	3.0
東区	200	4,823	24.1	88,535	44,268	1,836	21.1	17.2	18.9
白石区	157	5,019	32.0	89,271	56,861	1,779	16.5	17.9	19.0
厚別区	28	1,942	69.4	31,552	112,686	1,625	2.9	6.9	6.7
豊平区	56	2,097	37.4	22,358	39,925	1,066	5.9	7.5	4.8
清田区	18	838	46.6	13,020	72,333	1,554	1.9	3.0	2.8
南区	24	421	17.5	3,445	14,354	818	2.5	1.5	0.7
西区	218	7,521	34.5	154,128	70,701	2,049	22.9	26.8	32.8
手稲区	81	2,080	25.7	33,752	41,669	1,623	8.5	7.4	7.2

注：1) 平成22年中の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

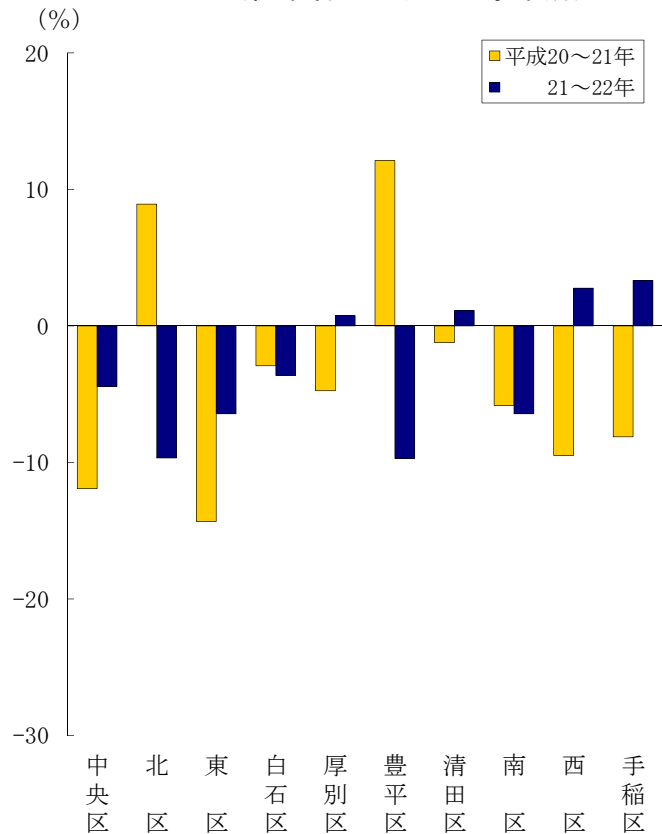
<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

平成21年から22年にかけての増加状況を見ると、事業所数は、すべての区で減少しており、白石区が17事業所の減少（前年比9.8%減）、東区が13事業所の減少（6.1%減）、中央区が11事業所の減少（9.7%減）、手稲区が8事業所の減少（9.0%減）などとなっている。

従業者数では、西区が440人の増加（6.2%）、北区が345人の増加（35.6%増）、白石区が74人の増加（1.5%増）、厚別区が8人の増加（0.4%増）と4区で増加となっている。一方、他の6区では減少しており、東区が202人の減少（4.0%減）、中央区が156人の減少（7.2%減）、手稲区が121人の減少（5.5%減）などとなっている。

出荷額では、食料品等が増加した西区が42億円の増加（2.8%増）、輸送用機械器具等が増加した手稲区が11億円の増加（3.3%増）、厚別区が2億円の増加（0.7%増）、清田区が1億円の増加（1.1%増）と4区で増加となっている。一方、他の6区では減少しており、金属製品等が減少した東区が61億円の減少（6.4%減）、家具・装備品等が減少した白石区が34億円の減少（3.6%減）、食料品等が減少した豊平区が24億円の減少（9.7%減）、食料品等が減少した北区が15億円の減少（9.7%減）などとなっている。

第5図 区別製造品出荷額等の対前年比（従業者4人以上の事業所）



<資料> 経済産業省、市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第7表 年次、区別工業概況（従業者4人以上の事業所）

区	平成21年			22年			増加数			増加率 (%)		
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 ¹⁾	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 ¹⁾	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 ¹⁾	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 ¹⁾
全市	1,020	27,818	478,380	950	28,066	469,561	△70	248	△8,819	△6.9	0.9	△1.8
中央区	113	2,166	20,346	102	2,010	19,447	△11	△156	△899	△9.7	△7.2	△4.4
北区	72	970	15,560	66	1,315	14,053	△6	345	△1,507	△8.3	35.6	△9.7
東区	213	5,025	94,598	200	4,823	88,535	△13	△202	△6,063	△6.1	△4.0	△6.4
白石区	174	4,945	92,632	157	5,019	89,271	△17	74	△3,361	△9.8	1.5	△3.6
厚別区	31	1,934	31,320	28	1,942	31,552	△3	8	232	△9.7	0.4	0.7
豊平区	61	2,101	24,762	56	2,097	22,358	△5	△4	△2,404	△8.2	△0.2	△9.7
清田区	19	897	12,872	18	838	13,020	△1	△59	148	△5.3	△6.6	1.1
南区	26	498	3,682	24	421	3,445	△2	△77	△237	△7.7	△15.5	△6.4
西区	222	7,081	149,942	218	7,521	154,128	△4	440	4,186	△1.8	6.2	2.8
手稲区	89	2,201	32,666	81	2,080	33,752	△8	△121	1,086	△9.0	△5.5	3.3

注：1) その年の1年間の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

<資料> 経済産業省、市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

6 区別産業中分類別出荷額の概況

産業中分類別に各区の出荷額をみると、札幌市の製造業の中で最も出荷額の多い「食料品」では、西区が558億円で全市（2053億円）の27.2%を占めて最も多く、以下、白石区が451億円（22.0%）、厚別区が275億円（13.4%）、東区が270億円（13.1%）などとなっている。

「家具・装備品」では、発寒木工団地を有する西区が36億円で全市（111億円）の32.3%を占めて最も多く、以下、白石区が27億円（23.9%）、手稲区が11億円（10.2%）、東区が10億円（9.4%）などとなっている。

「印刷・同関連業」では、西区が291億円で全市（740億円）の39.4%を占めて最も多く、次いで東区が241億円（32.6%）となっており、この2区で72.0%と全市の7割以上を占めている。以下、中央区が94億円（12.6%）、手稲区が41億円（5.5%）などとなっている。

「鉄鋼業」では、発寒鉄工団地、発寒鉄工関連団地を有する西区が200億円で全市（232億円）の86.2%と8割以上を占めている。

「金属製品」では、東苗穂工業団地、丘珠鉄工団地、丘珠地区工業団地を有する東区が157億円で全市（394億円）の40.0%を占めて最も多く、次いで西区が142億円（36.0%）となっており、この2区で全市の76.0%と4分の3以上を占めている。

「生産用機械器具」では、西区が52億円で全市（118億円）の44.0%を占めて最も多く、次いで東区が36億円（30.3%）となっており、この2区で全市の74.3%と4分の3近くを占めている。

「輸送用機械器具」では、手稲区が65億円で全市（132億円）の49.4%を占めて最も多く、次いで西区が40億円（30.4%）となっており、この2区で全市の79.8%と8割近くを占めている。

第8表 区、産業（中分類）別製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

(金額単位 百万円)		平成22年中							
区	総額	食料品	家具・ 装備品	印刷・ 同関連業	鉄鋼業	金属製品	生産用 機械器具	輸送用 機械器具	
		実				数			
全市	469,561	205,270	11,141	73,996	23,248	39,356	11,790	13,178	
中央区	19,447	5,207	x	9,355	—	162	—	—	
北区	14,053	7,716	695	1,910	—	1,620	x	—	
東区	88,535	26,973	1,044	24,131	x	15,732	3,575	x	
白石区	89,271	45,147	2,666	2,714	x	4,112	1,897	x	
厚別区	31,552	27,488	253	1,562	—	x	—	—	
豊平区	22,358	18,722	732	831	—	x	—	—	
清田区	13,020	6,185	800	x	—	x	—	—	
南区	3,445	1,328	x	x	—	—	—	—	
西区	154,128	55,793	3,593	29,132	20,049	14,176	5,186	4,004	
手稲区	33,752	10,712	1,139	4,087	x	2,402	x	6,516	
		割				合 (%)			
全市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
中央区	4.1	2.5	x	12.6	—	0.4	—	—	
北区	3.0	3.8	6.2	2.6	—	4.1	x	—	
東区	18.9	13.1	9.4	32.6	x	40.0	30.3	x	
白石区	19.0	22.0	23.9	3.7	x	10.4	16.1	x	
厚別区	6.7	13.4	2.3	2.1	—	x	—	—	
豊平区	4.8	9.1	6.6	1.1	—	x	—	—	
清田区	2.8	3.0	7.2	x	—	x	—	—	
南区	0.7	0.6	x	x	—	—	—	—	
西区	32.8	27.2	32.3	39.4	86.2	36.0	44.0	30.4	
手稲区	7.2	5.2	10.2	5.5	x	6.1	x	49.4	

<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第9表 区、産業（中分類）別工業概況（従業者4人以上の事業所）

産業（中分類）		全 市			中 央 区			北 区		
		事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)
総 数		950	28,066	469,561	102	2,010	19,447	66	1,315	14,053
09 食 料 品		212	14,541	205,270	22	608	5,207	18	791	7,716
10 飲料・たばこ・飼料		14	548	31,899	2	30	x	1	13	x
11 織 維 工 業		42	481	2,996	10	68	412	4	39	218
12 木 材 ・ 木 製 品		12	130	1,804	1	7	x	—	—	—
13 家 具 ・ 装 備 品		79	948	11,141	1	4	x	8	61	695
14 パルプ・紙・紙加工品		19	394	5,826	5	104	896	2	31	x
15 印 刷 ・ 同 関 連 業		156	4,322	73,996	38	966	9,355	9	151	1,910
16 化 学 工 業		6	303	8,676	—	—	—	—	—	—
17 石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品		4	37	1,469	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品		33	493	8,164	1	4	x	—	—	—
19 ゴ ム 製 品		6	77	857	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品・毛皮		3	47	1,238	—	—	—	—	—	—
21 窯 業 ・ 土 石 製 品		31	242	6,896	3	27	593	3	17	x
22 鉄 鋼 業		15	549	23,248	—	—	—	—	—	—
23 非 鉄 金 属		3	30	451	—	—	—	1	9	x
24 金 属 製 品		136	2,060	39,356	3	20	162	12	127	1,620
25 は ん 用 機 械 器 具		27	287	4,147	1	5	x	1	5	x
26 生 産 用 機 械 器 具		44	707	11,790	—	—	—	1	8	x
27 業 務 用 機 械 器 具		10	227	2,461	2	69	x	1	25	x
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路		2	21	x	1	5	x	—	—	—
29 電 気 機 械 器 具		25	588	8,548	1	18	x	1	7	x
30 情 報 通 信 機 械 器 具		2	34	x	—	—	—	—	—	—
31 輸 送 用 機 械 器 具		9	516	13,178	—	—	—	—	—	—
32 そ の 他 の 製 造 業		60	484	5,349	11	75	709	4	31	x

産業（中分類）	東 区			白 石 区			厚 別 区		
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)
総 数	200	4,823	88,535	157	5,019	89,271	28	1,942	31,552
09 食 料 品	29	1,481	26,973	38	3,505	45,147	11	1,591	27,488
10 飲料・たばこ・飼料	1	16	x	3	94	23,414	1	25	x
11 織 維 工 業	11	120	712	6	85	779	—	—	—
12 木 材 ・ 木 製 品	1	6	x	3	49	658	—	—	—
13 家 具 ・ 装 備 品	11	86	1,044	17	274	2,666	5	32	253
14 パルプ・紙・紙加工品	2	16	x	4	87	1,654	—	—	—
15 印 刷 ・ 同 関 連 業	27	1,076	24,131	16	208	2,714	3	150	1,562
16 化 学 工 業	—	—	—	2	30	x	—	—	—
17 石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	—	—	—	1	8	x	—	—	—
18 プラスチック製品	4	90	2,470	3	55	1,161	1	5	x
19 ゴ ム 製 品	—	—	—	3	36	230	—	—	—
20 なめし革・同製品・毛皮	—	—	—	—	—	—	1	27	x
21 窯 業 ・ 土 石 製 品	7	46	2,041	3	24	682	—	—	—
22 鉄 鋼 業	5	188	x	1	17	x	—	—	—
23 非 鉄 金 属	1	5	x	—	—	—	1	16	x
24 金 属 製 品	45	791	15,732	21	214	4,112	1	6	x
25 は ん 用 機 械 器 具	10	98	974	7	61	709	1	7	x
26 生 産 用 機 械 器 具	18	255	3,575	10	97	1,897	—	—	—
27 業 務 用 機 械 器 具	3	74	665	1	4	x	1	8	x
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	1	16	x	—	—	—	—	—	—
29 電 気 機 械 器 具	8	235	3,506	4	46	421	1	49	x
30 情 報 通 信 機 械 器 具	—	—	—	1	8	x	1	26	x
31 輸 送 用 機 械 器 具	2	107	x	1	5	x	—	—	—
32 そ の 他 の 製 造 業	14	117	1,026	12	112	1,592	—	—	—

注：1）平成22年中の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。
 <資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」

第9表 区、産業（中分類）別工業概況（従業者4人以上の事業所）－つづき－

		平成22年12月末現在								
(金額単位 百万円)		豊平区			清田区			南区		
産業（中分類）		事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)
総数		56	2,097	22,358	18	838	13,020	24	421	3,445
09 食料品		19	1,732	18,722	5	355	6,185	8	246	1,328
10 飲料・たばこ・飼料		1	20	x	1	264	x	1	7	x
11 繊維工業		4	44	238	2	14	x	2	78	x
12 木材・木製品		1	5	x	—	—	—	—	—	—
13 家具・装備品		3	48	732	3	50	800	3	14	x
14 パルプ・紙・紙加工品		—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 印刷・同関連業		11	97	831	1	10	x	3	18	x
16 化学工業		1	17	x	—	—	—	—	—	—
17 石油製品・石炭製品		—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 プラスチック製品		2	13	x	—	—	—	—	—	—
19 ゴム製品		—	—	—	—	—	—	—	—	—
20 なめし革・同製品・毛皮		1	6	x	—	—	—	1	14	x
21 窯業・土石製品		—	—	—	2	13	x	4	25	1,149
22 鉄鋼業		—	—	—	—	—	—	—	—	—
23 非鉄金属		—	—	—	—	—	—	—	—	—
24 金属製品		2	13	x	2	52	x	—	—	—
25 はん用機械器具		—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 生産用機械器具		—	—	—	—	—	—	—	—	—
27 業務用機械器具		1	26	x	—	—	—	—	—	—
28 電子部品・デバイス・電子回路		—	—	—	—	—	—	—	—	—
29 電気機械器具		—	—	—	1	74	x	1	7	x
30 情報通信機械器具		—	—	—	—	—	—	—	—	—
31 輸送用機械器具		—	—	—	—	—	—	—	—	—
32 その他の製造業		10	76	995	1	6	x	1	12	x

産業（中分類）	西区			手稲区		
	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等1)
総数	218	7,521	154,128	81	2,080	33,752
09 食料品	45	3,240	55,793	17	992	10,712
10 飲料・たばこ・飼料	2	75	x	1	4	x
11 繊維工業	3	33	147	—	—	—
12 木材・木製品	2	27	x	4	36	642
13 家具・装備品	21	287	3,593	7	92	1,139
14 パルプ・紙・紙加工品	4	107	1,830	2	49	x
15 印刷・同関連業	41	1,493	29,132	7	153	4,087
16 化学工業	1	219	x	2	37	x
17 石油製品・石炭製品	3	29	x	—	—	—
18 プラスチック製品	9	98	1,243	13	228	3,124
19 ゴム製品	2	37	x	1	4	x
20 なめし革・同製品・毛皮	—	—	—	—	—	—
21 窯業・土石製品	5	64	743	4	26	1,160
22 鉄鋼業	8	318	20,049	1	26	x
23 非鉄金属	—	—	—	—	—	—
24 金属製品	39	703	14,176	11	134	2,402
25 はん用機械器具	6	106	2,234	1	5	x
26 生産用機械器具	12	295	5,186	3	52	x
27 業務用機械器具	1	21	x	—	—	—
28 電子部品・デバイス・電子回路	—	—	—	—	—	—
29 電気機械器具	4	133	2,737	4	19	338
30 情報通信機械器具	—	—	—	—	—	—
31 輸送用機械器具	3	181	4,004	3	223	6,516
32 その他の製造業	7	55	502	—	—	—

注：1) 平成22年中の数値であり、製造品出荷額のほか、加工賃収入額、その他収入額並びに製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を含む。

<資料> 市長政策室政策企画部企画課「工業統計調査」